



政府、骨太方針等を閣議決定

政府は令和2年7月17日、「経済財政運営と改革の基本方針2020」(骨太方針)、「規制改革実施計画」及び「成長戦略実行計画」等を閣議決定しました。

骨太方針には、新型コロナウイルス感染症を受け、薬局等に対して感染拡大防止のための支援等を行うこと、本年の薬価調査を踏まえて行う来年度の薬価改定は同感染症の影響を勘案して十分に検討し、決定すること等が示されています。

本会では、これらに加え、かかりつけ薬剤師の普及やセルフメディケーションの推進についても記載されたことを評価し、同日付でコメントを公表しました(本会ホームページに掲載)。

中医協、令和2年度薬価調査等について議論

中医協は7月22日に薬価専門部会及び総会をオンライン開催し、令和2年度薬価調査等について議論しました。

薬価専門部会で、有澤委員(日薬常務理事)は「現場の薬局や医療機関は全力で新型コロナウイルス感染症の対応を行っている。例年とは異なる環境下で薬価調査を行い、それを薬価改定に用いることは、市場実勢価格を適切に反映させるという趣旨からは難しい」「現場の薬局・医療機関と卸の間で妥結交渉が進んでいない中で薬価調査を実施する方向が示されたのは、誠に遺憾」と意見を述べました。

診療側委員も「新型コロナウイルス感染症患者他への対応を最優先に行っている中で、薬価調査を行っても、適切な薬価への反映はできない。調査を実施できる状況ではないとの声があるにも関わらず実施することになったのは、誠に遺憾」と述べた上で、調査の実施について「薬価調査は実施しても、それをを用いて薬価改定を実施するかについては改めて検討すべき」と指摘、調査票の記載に係る事務的な負担軽減や7月豪雨の被災地は対象を外すことを含め、これらを条件に承認しました。

厚労省、薬剤師の養成・資質向上等に関する検討会を設置

厚労省は7月10日、「薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会」の初会合を開催しました。

本検討会は、薬学教育6年制課程が平成18年に開始されて以降、薬剤師に求められる役割や業務内容が変化していることから、薬剤師の養成や資質向上に関する事項等について議論する予定です。具体的には、薬剤師の需給調査、薬剤師の養成、資質向上に関する事項のほか、今後の薬剤師のあり方について検討することが示されました。

本会からは安部副会長が構成員として出席し、「薬学教育を含む薬剤師の養成から資質向上に関する検討の機会であり、日本薬剤師会として大変重要な位置付けにあると受け止めている。人口減少、ICT等の技術革新、新型コロナウイルス感染症等の課題も踏まえ、薬剤師の職能をいかに発揮するかといった視点から議論をしていきたいと思っている」と発言しました。

今後は今秋に需給調査を行い、年度内に調査を踏まえつつ議論を深め、令和3年度に薬剤師のあり方等をまとめる予定です。

日薬、令和3年度予算・税制改正について要望

本会では、令和3年度予算及び税制改正に関する要望事項を取りまとめました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえ、予算要望では、薬局経営への財政支援や本年の薬価調査と来年度の薬価改定の延期等の16項目を、税制改正要望では、経営が悪化した薬局を対象とした課税繰り延べ制度の拡充等の11項目を掲げました。7月1日には本会役員が厚生労働省を、同17日には文部科学省を訪問し、要望を行いました。

第53回日薬学術大会(北海道大会)の開催について

本年10月10日(土)と11日(日)の2日間、第53回日本薬剤師会学術大会(北海道大会)を札幌市で開催します。新型コロナウイルス感染症の影響により、会場へお越しいただくことが困難な方が数多くいる可能性を勘案し、現地開催とWEB開催(ライブ配信)を併用したハイブリッド開催とします。なお、大会懇親会は中止します。詳しくは大会ホームページをご覧ください。

令和2年7月豪雨 被災会員への義援金にご協力を!

本会では、令和2年7月豪雨で甚大な被害に見舞われた会員の皆様をお見舞いするため、義援金を募集しています。送金先は下記のとおりですので、ぜひご協力をお願いします。

【義援金送金先】

- ◆郵便振替貯金口座 00130-1-35238
- ◆口座名義 公益社団法人 日本薬剤師会

※払込取扱票等の通信欄に「令和2年7月豪雨義援金」である旨をご記載下さい。(ATMから送金する場合は払込人名の前に「ギエンキン」と付記して下さい。)
※ゆうちょ銀行以外の金融機関から送金する場合は、支店名(〇一九店)、支店コード(019)及び預金種別(当座)の記載も必要となります。
口座番号は、0035238となります。
(払込料金は各自のご負担でお願いします。)

- ◆日薬会員の方: FAX送付先変更・中止等のご連絡は直接、所属の都道府県薬剤師会等までお願いします。
- ◆日薬会員以外の方に誤って届いた場合: 中止するFAX番号をご記入の上FAX(03-3353-6270)宛にご返信ください。

中止FAX番号 (— —)



2020 年 8 月 5 日

薬剤師の先生へ

興和株式会社

アデホスコーワ類（顆粒 10%、腸溶錠 20・60）の 出荷調整に関するお詫びとご案内（第二報）

謹啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社が製造販売いたしますアデホスコーワ類におきまして、原薬 ATP（アデノシン三リン酸二ナトリウム水和物）の製造業者である協和発酵バイオ株式会社の業務改善命令の行政処分に基づく影響により、十分な数量の原薬を確保することが困難な状況であることを第一報にてご報告いたしました。そのため、6月2日より出荷調整を開始させていただいております。しかし、案内直後より流通が滞るケースが一部で発生し、ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

現在、原薬の複数社購買を行うため、所要の薬事手続きを実施しております。予定通り手続きが完了した場合、アデホスコーワ類に関わる安定供給の再開時期は現時点で 2021 年 1 月を予定しております。ただし、今後の原薬確保の状況が変わり次第、あらためてご案内させていただきます。

また、適正な流通を目的にアデホス顆粒 10% の大包装（1.0g×1050 包ならびに 1200 包）につきましては、在庫の関係上、9 月より特約店様への出荷を一時休止させていただきます。在庫分の出荷が終了した際には、恐れ入りますが 1.0g×600 包の発注をお願い申し上げます。なお、安定供給が可能になりましたら、出荷を再開いたします。

出荷調整が長期間になりますので、引き続き処方される分のみのご購入をお願いいたします。

医療関係者の皆さまならびに患者さまには、多大なるご迷惑をおかけいたしますこと、重ねて深くお詫び申し上げます。今後とも倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

1. 第一報からアップデートされた情報

- ① 安定供給が出来ない期間：2020年6月2日～2020年12月（予定）
- ② 9月より出荷を一時休止する製品
 - ✓ アデホスコーワ顆粒 10% 1.0g×1050包
 - ✓ アデホスコーワ顆粒 10% 1.0g×1200包

◆日薬会員の方：FAX 送付先変更・中止等のご連絡は直接、所属の都道府県薬剤師会等までお願いします。

◆日薬会員以外の方に誤って届いた場合：送信を中止しますので、中止する FAX 番号をご記入の上

FAX (03-3353-6270) 宛にご返信ください。中止 FAX 番号 (— —)

2. 代替薬に関する情報

- ① 同一成分（ATP：アデノシン三リン酸二ナトリウム水和物）であるトリノシン類（製造販売：トーアエイヨー株式会社）につきましては、供給する原薬メーカーが同一であり、弊社と同じく出荷調整を行っております。また、ATP腸溶錠20mg「日医工」につきましては、出荷停止中となっております。
- ② その他の成分で代替できる同種同効薬はございません。

3. 対象商品

| 商品名 | 包装 | 統一商品コード | 販売包装単位コード (GS1) | 出荷を一時 休止する 時期（予定） |
|------------------|------------|-----------|--------------------|-------------------------|
| アデホスコーワ 顆粒10% | 100g | 770528407 | 14987770528404 | |
| | 500g | 770528506 | 14987770528503 | |
| | 1kg | 770528605 | 14987770528602 | |
| | 0.6g×1050包 | 770576903 | 14987770576900 | |
| | 1.0g×600包 | 770528803 | 14987770528800 | |
| | 1.0g×1050包 | 770529107 | 14987770529104 | 9月 |
| | 1.0g×1200包 | 770529305 | 14987770529302 | 9月 |
| アデホスコーワ 腸溶錠20 | PTP100錠 | 770504609 | 14987770504606 | |
| | PTP500錠 | 770504906 | 14987770504903 | |
| | PTP1000錠 | 770505200 | 14987770505207 | |
| | PTP2100錠 | 770561305 | 14987770561302 | |
| | バラ1000錠 | 770505002 | 14987770505009 | |
| アデホスコーワ 腸溶錠60 | PTP100錠 | 770557001 | 14987770557008 | |
| | PTP1000錠 | 770552303 | 14987770552300 | |
| | PTP2100錠 | 770561404 | 14987770561401 | |
| | バラ1000錠 | 770552105 | 14987770552102 | |

4. 本件に関するお問い合わせ先

興和株式会社 くすり相談センター

TEL 0120-508-514（9:00～17:00/土・日・祝日および当社休業日を除く）

◆日薬会員の方：FAX 送付先変更・中止等のご連絡は直接、所属の都道府県薬剤師会等までお願いします。

◆日薬会員以外の方に誤って届いた場合：送信を中止しますので、中止するFAX番号をご記入の上

FAX (03-3353-6270) 宛にご返信ください。中止 FAX 番号 (—)



第53回日薬学術大会(北海道) 事前登録締切迫る! 9月9日(水) 正午まで WEB 参加募集中!! ~ぜひ多くの方のご参加をお待ちしております~

本年10月10日(土)、11日(日)の2日間、札幌市で開催予定の第53回日薬学術大会については、現地参加とWEB参加[ライブ配信]のどちらかを選択するハイブリッド開催とします。9月9日(水)正午まで、WEB参加の事前参加登録を大会ホームページで受付中です。

開会式、特別記念講演、特別講演および各分科会はハイブリッド開催します。一般演題の口頭発表は現地会場で行い(ライブ配信はありません)、ポスター発表は一律WEB発表で行います。

WEB参加の場合でも、受講条件を満たすことにより研修受講シールを取得可能となります。ぜひ、WEB参加を活用され、多くの方にご参加をいただければ幸いです。

なお、すでに現地参加の事前登録は締め切りでしたが、現地参加の事前登録をいただいた方のWEB参加への変更のご希望を受け付けています。大会運営事務局の事前登録係(JTB北海道事業部MICEセンター)へお問い合わせください[大会ホームページ>開催方式に関するQ&A参照]。

最新情報やプログラム等の詳細につきましては、大会ホームページでご確認ください。

(<https://www.c-linkage.co.jp/jpa53/>)

日薬「みんなで安心マーク」発行についてのご案内

本会では、新型コロナウイルス感染が拡大している状況下でも、患者さんが安心して薬局に来局できるように「新型コロナウイルス感染症等感染防止対策実施薬局みんなで安心マーク」を作成し、感染防止対策を実施している薬局に発行する準備を進めています。

同マークのイメージなどは、日本薬剤師会雑誌9月号に掲載していますので、ご参照ください。

日薬、OTC医薬品の取扱いに関する調査を実施 (ご協力をお願い)

本会は現在、OTC医薬品の取扱い状況等に関するWEB等での調査を実施しています。

対象はOTC医薬品の取扱いの有無に関わらず、全薬局・店舗としており、回答期限は本年9月30日です。ご協力のほどお願いします。

回答フォームはこちら(本会ホームページ>お知らせ>薬剤師のみなさまへ>OTC医薬品の取扱い状況調査)。

JPALS「専門分野別学識試験」の受験申込受付始まる!

JPALSでは、クリニカルラダー(CL)レベル5または6の利用者を対象に、専門分野の学識を有しているかを確認する「専門分野別学識試験」(WEB試験)を2018年度より実施しており、2018年度は「腎臓病薬物療法分野」、2019年度より「緩和医療薬学分野」が加わり、計2分野を実施しています。

試験合格者には、学会と本会連名の合格証明書を発行(ダウンロード)します。同時に2分野の申込みが可能ですが、受験するには、試験ごとに申込み受付期間内にJPALSのWEBサイト上での申込み、受験料の決済手続きが必要です。

詳細は、JPALSログイン後、画面左下の「専門分野別学識試験」をご覧ください。

- 申込み受付期間: 9月1日(火)~30日(水)
- 試験実施期間: 10月1日(木)~31日(土)
- 対象: JPALSのCLレベル5または6の利用者
- 受験料: 1分野ごとに10,000円(税別)
但し、日本薬剤師会会員の場合5,000円(税別)
- 申込方法: JPALSのWEBサイト
(<https://www.jpals.jp/>)からお申込みください。

中医協、新型コロナウイルス感染症への対応等について議論

中医協は、19日に総会をオンライン開催し、新医薬品の薬価収載、新型コロナウイルス感染症への対応等について議論しました。

新型コロナウイルス感染症への対応等については、経過措置の取扱いに関する整理案が示されました。診療側委員はこれに賛成した上で「緊急事態宣言の期間でなくてもその時々医療現場の状況に合わせて本取扱いが適用できるよう検討すべき」「コロナ感染拡大の終息は見えていない。経過措置期間の延長については、引き続き感染状況を鑑みながら、更なる延長が必要かどうかも含めて改めて検討していくべき」と述べましたが、支払側委員は「本取扱いを全国一律に認めていくことはエビデンスもない中で判断はできない。個別ケースに応じて本取扱いを適用していくべき。本案については保留にさせていただきます」と反論しました。

議論の結果、本件は中央社会保険医療協議会 小塩会長預かりとなり、次回中医協で報告されることとなりました。

- ◆日薬会員の方: FAX送付先変更・中止等のご連絡は直接、所属の都道府県薬剤師会等までお願いします。
- ◆日薬会員以外の方に誤って届いた場合: 中止するFAX番号をご記入の上FAX(03-3353-6270)宛にご返信ください。

中止FAX番号(— —)